

みずほCustomer Desk Report 2017/06/21号(As of 2017/06/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.75 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.70	1.1144	124.52	0.9760	1.2726	0.7591
SYD-NY High	111.79	1.1165	124.64	0.9766	1.2758	0.7625
SYD-NY Low	111.32	1.1119	123.93	0.9726	1.2603	0.7571
NY 5:00 PM	111.45	1.1135	124.09	0.9750	1.2628	0.7580
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.64/8.04		25RR	0.645	Yen Call Over	

	債券市場	為替市況	商品市況
NY DOW	21,467.14 ▲ 61.85	日本2年債	-0.1110 ▲ 0.6bp
NASDAQ	6,188.03 ▲ 50.98	日本10年債	0.0570 0.2bp
S&P	2,437.03 ▲ 16.43	米国2年債	1.3439 ▲ 1.2bp
日経平均	20,230.41 162.66	米国5年債	1.7632 ▲ 2.5bp
TOPIX	1,617.25 11.18	米国10年債	2.1565 ▲ 3.1bp
シカゴ日経先物	20,205.00 40.00	独10年債	0.2620 ▲ 1.9bp
ロンドンFT	7,472.71 ▲ 51.10	英10年債	0.9950 ▲ 3.5bp
DAX	12,814.79 ▲ 74.16	豪10年債	2.4180 1.2bp
ハンセン指数	25,843.04 ▲ 81.51	USD/CNH	6.8237 ▲ 0.0055
上海総合	3,140.01 ▲ 4.36	ドルインデックス	97.75 0.20
USDJPY 3M Vol	7.96 ▲ 0.06%	CRB指数	169.658 ▲ 1.62
USDJPY 6M Vol	8.53 ▲ 0.10%	NY金	1,243.50 ▲ 3.20
EURJPY 3M Vol	7.89 ▲ 0.05%	WTI	43.51 ▲ 0.92
EURJPY 6M Vol	8.79 ▲ 0.05%	Dubai Spot	45.57 ▲ 0.40

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月20日	08:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	10:30	豪 RBA議事要旨	-	-
	16:15	米 フィッシャーFRB副議長 講演	-	-
	21:15	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 経常収支	1Q	-\$116.8B -123.8B
6月21日	04:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月21日	08:50	日 日銀議事要旨(6/26-27開催分)	-	-
	15:36	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	2.8%
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月	5.55M 5.57M

東京	朝方は前日海外時間のダトリ-NY連銀総裁の効派発言を受けたドル買いの流れを引き継ぎ高推移となり、東京時間のドル円は111.70レベルでオープン。目立った新規材料のない中、111.60台を中心とした動向の乏しい推移が続いた。引けにかけて日経平均株価が下落する展開となるとドル円も111円台半ばまで下落。結局、111.55レベルで海外へ渡った。また、この日公表された豪準備銀行(RBA)理事会議事要旨では「緩和的な金融政策スタンスの維持が、持続的な経済成長と将来的なインフラ目標達成に整合的に判断した」とされたが、マーケットの反応は限定的となった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は横ばい、111.55レベルでオープン。米長期金利の上昇を背景にドル円も111.79まで値を上げるも、この水準から一段と上値を試す展開とはならず111.64レベルでNYへ渡った。ポンドは下落した。1.2743レベルでオープン。カーニ-英中銀総裁の「インフレ圧力は抑制されており、利上げの時ではない」、「国内のインフレ圧力は引き続き弱く賃金の伸びには力が無い」との発言があったことに加えて、引き続きEU離脱交渉への不透明感が意識されたこともありポンドが売られる展開となり1.2671レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、前日のダトリ-NY連銀総裁の効派発言を背景に111円台後半で底堅く推移し、111.64レベルでNYオープン。従来「強いドルは良いことだ」等ドル高をサポートするスタンスの発言が目立ったムニオン米財務長官が朝方「強いドルには不利な面もある」と発言したことがクロスアップされ、米金利急落と共にドル円は111.32まで急落。しかし、この水準では下げ渋り、反発。その後もロンドンフィクシングにかけてショートカバーが強まるなか、NY時間高値111.73まで上昇。しかし、原油減産を免除されている北アとナイジェリアで増産の動きがあることが伝わり、世界的な原油供給過剰懸念が強まり、WTIが一時42.75ドルまで下落するなど、昨年8月以来約9ヶ月ぶりの安値を更新する動きに、エネルギー関連株主導で米株も大幅に下落し、ドル円は米金利下落と共に111.40まで下落。その後原油が下げ止まると、111.56まで反発したが、上値は重く再び111.39に下落し、111.45レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1149レベルでNYオープン後、上記ムニオン米財務長官の発言を背景とする米金利低下・ドル売りの流れに1.1163まで上昇。しかし、その後は株安を背景に下げに転じ、1.1119まで下落。この水準ではオプション絡みの買いにサポートされ、1.11台前半で底堅く推移し、1.1135レベルでクロスした。

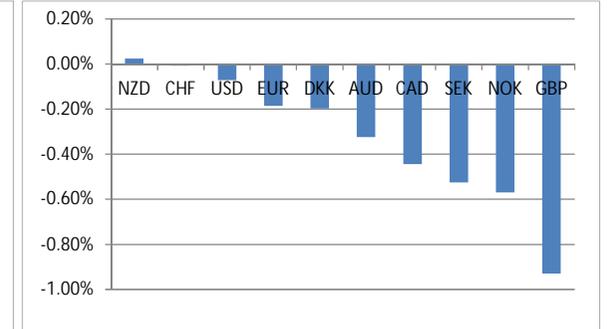
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・森谷

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-112.00	1.1050-1.1200	123.00-125.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場はドル売り優勢で推移。前日のダトリ-NY連銀総裁のタカ派的な発言を受けたドル買相場は継続せず、ムニオン米財務長官が強いドルに対する懸念を示したことにより米金利が低下すると、円が買い戻された。FRB高官によるタカ派発言をもってしてもドル高は一時的に留まったことを鑑みるに、ドル円の上値は引き続き重いと目され、下値リスクを警戒する相場が続くものと考えられる。